
エコステージ活動の 最終目標はSDGs



一般社団法人 エコステージ協会
前全国事務局長

株式会社日本マネジメントシステム
上級評価員 坂本純章

1. エコステージとは？
2. SDGsとは？
3. エコステージとSDGs（SDGsの見える化）

1. エコステージとは？
2. SDGsとは？
3. エコステージとSDGs（SDGsの見える化）

環境マネジメントシステム認証を受審するのか？ (導入のポイント)

何故、環境マネジメントシステム認証を受審するのか？

●背景として

持続可能な企業の環境課題は、

- 1、地球環境対策 (ex 温暖化京都議定書の発行、資源枯渇、廃棄物)
- 2、法令・その他要求の遵守 (ex グリーン購入法 グリーン調達)
- 3、環境リスク回避 (ex 有害物質、土壌汚染、不法投棄)
- 4、社会的評価対応 (ex 環境格付エコファンド消費者のグリーン購入等)

環境負荷軽減を求められている

取引先からの要求

社会的責任の要求が高まる

環境汚染規制の強化

社員全員の環境意識の高揚が重要

●その環境課題の具体的解決策として

→ 環境マネジメントの構築をもとに、経営そのものの改善へ繋げる可能性を持つこと

→ 責任と体制の明確化、コミュニケーションの向上、問題解決能力の向上により、体質の強化を図ること

●具体的な活動として、

ムリ、ムダ、ムラを排除し、業務の効率化、コストダウンの達成を可能とする

品質の向上

●結果として

→ グリーン調達として顧客(取引先)の要求を満足

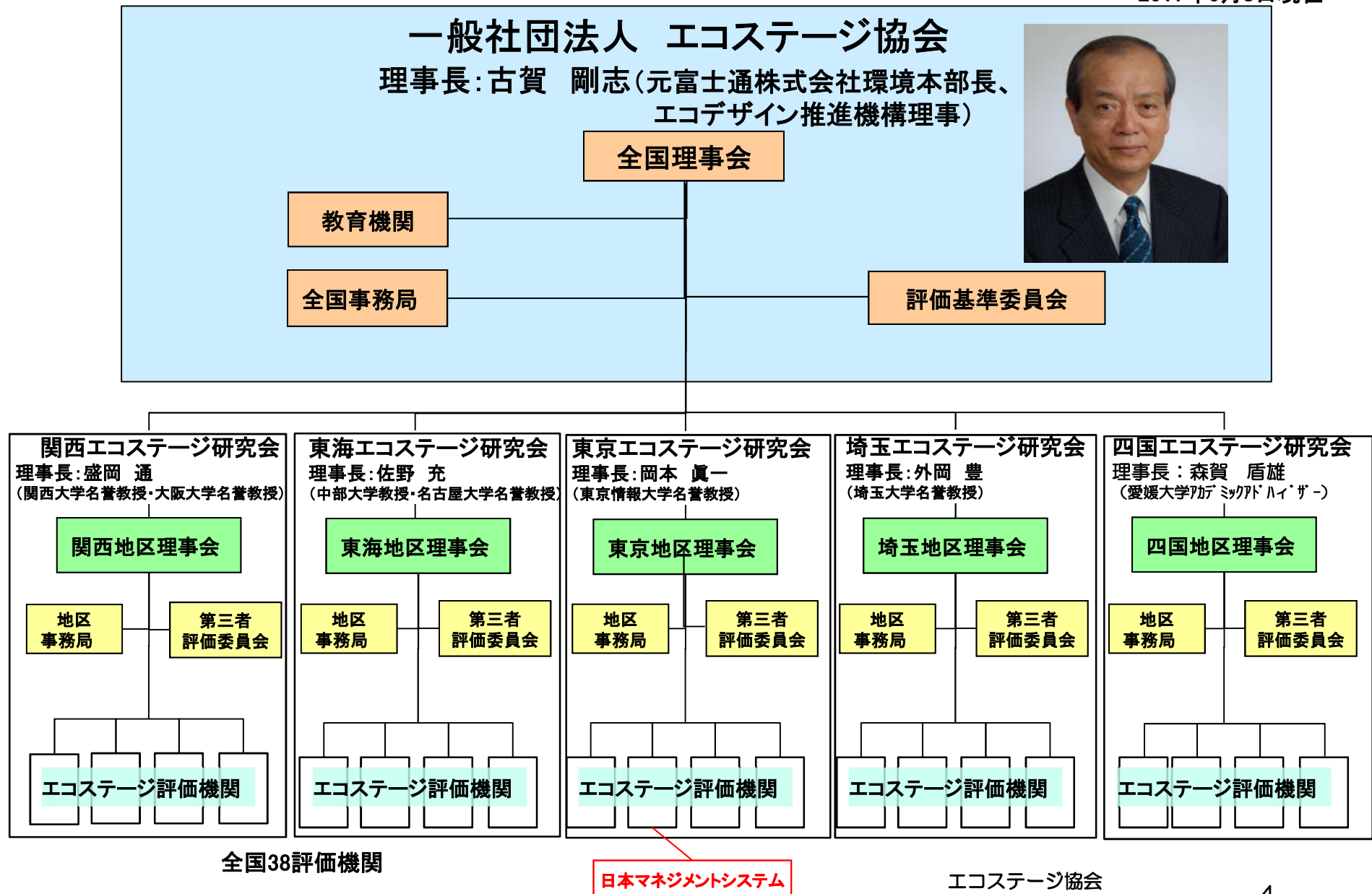
→ 第三者評価をもとにした経営システムを公開することにより、企業イメージ向上・社会的信頼を確保する。

強いては 地球環境保護の社会的責任(CSR)を果たす！！

以上を狙いとして活動を推進する。

エコステージ協会の組織

2017年6月8日現在



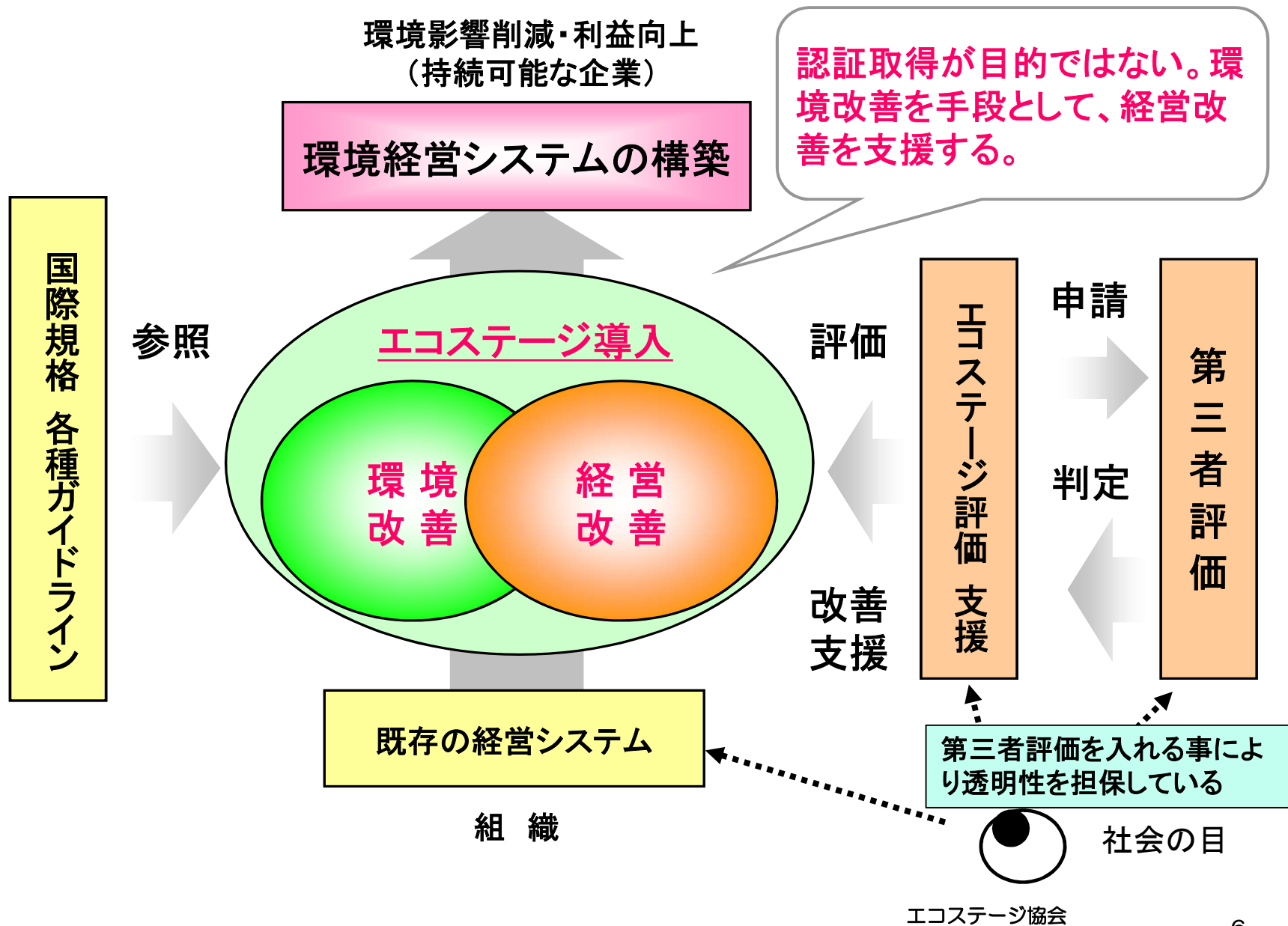
社内のメリット

- ・ムリ、ムダ、ムラを排除し、業務の効率化、コストダウンの達成可能
- ・社員の環境意識高揚を図る
- ・責任と体制の明確化、コミュニケーションの向上、従業員教育および問題解決能力の向上により、企業体質の強化が期待できる。
- ・環境マネジメントの構築をもとに、経営そのものの改善へ繋げる可能性を持つ。

社外のメリット

- ・環境負荷低減
- ・グリーン調達として顧客の要求を満足
- ・第三者評価をもとにした経営システムを公開することにより、企業イメージ向上・社会的信頼を確保できる。
- ・環境関連法および取引先の要求事項に確実な順守

エコステージの主旨

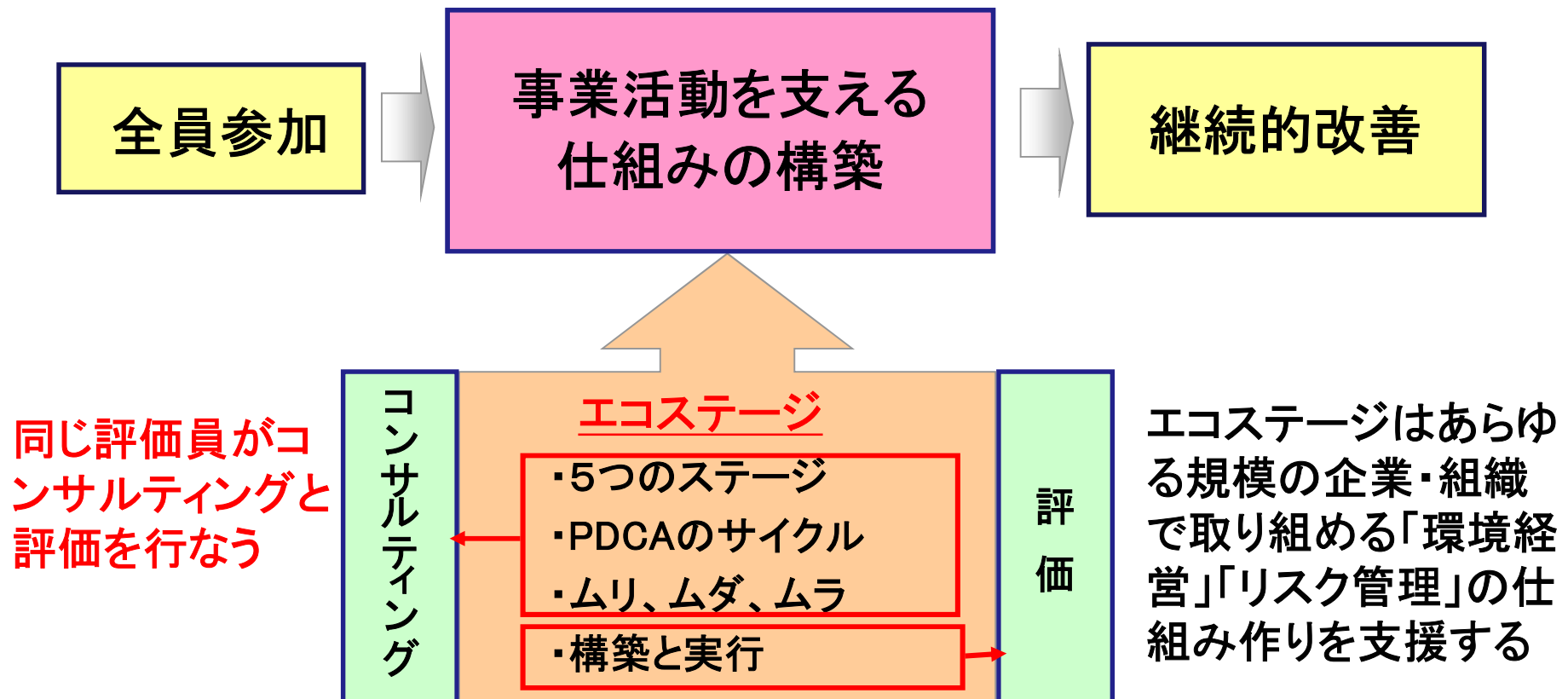


エコステージの特徴 1（評価員によるコンサルティング）

エコステージ
ECO STAGE を経営のスタンダードに

エコステージにおける環境経営とは

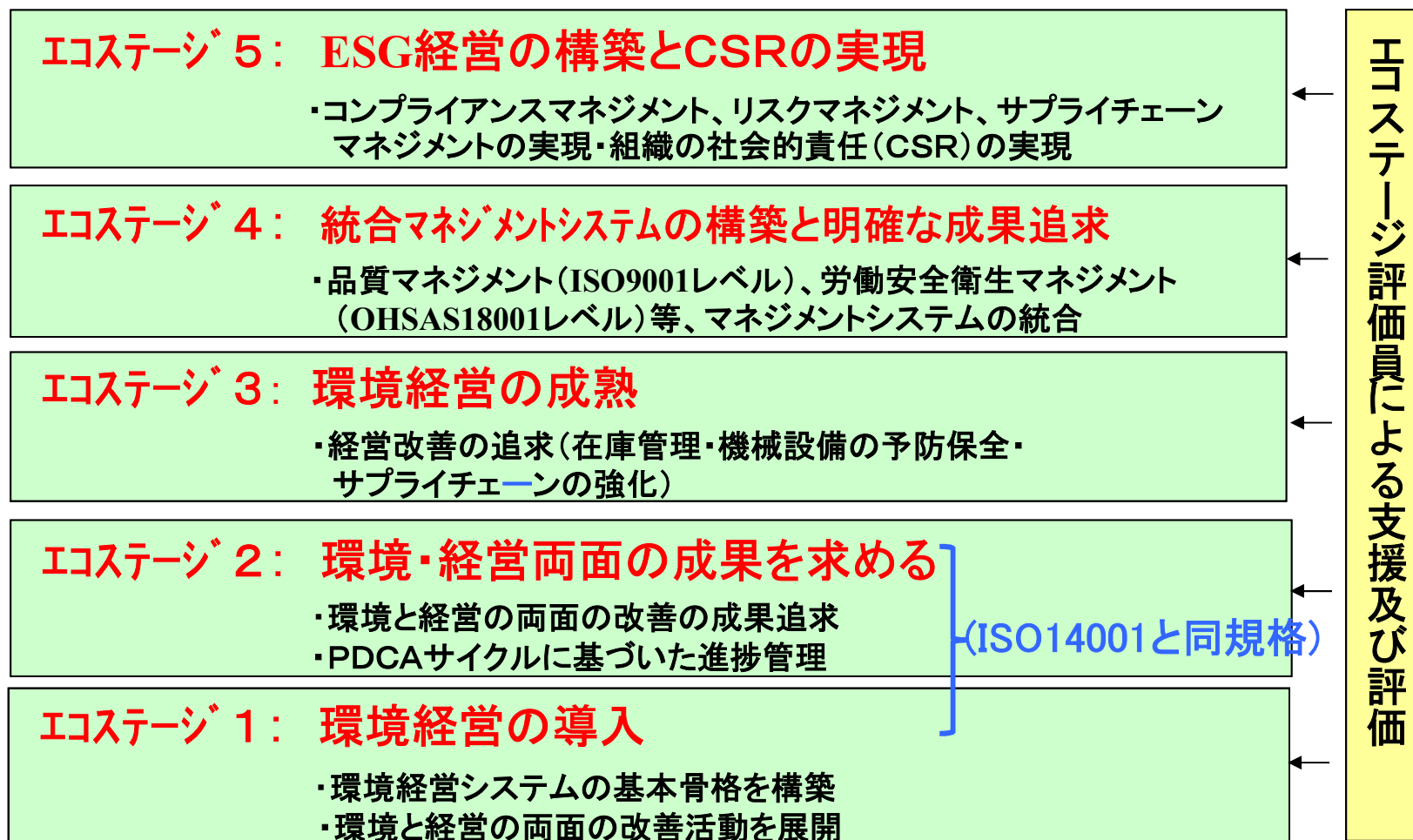
エコステージの評価員が「環境」を切り口に、3ム（ムリ・ムダ・ムラ）の視点から、業務の効率化や環境改善・品質改善のコンサルティングを行うと共に、PDCAサイクルを着実に浸透させ、業務の見える化を図ります。強いては、仕事の仕組みを改善し、利益の創出に貢献すること。



特徴2 エコステージの5段階（ステージ）



企業のあるべき姿、E(環境)・S(社会)・G(企業統治)経営とCSRの実現に向け、段階的にレベルアップが図れる仕組みである。



1. エコステージとは？
2. SDGsとは？
3. エコステージとSDGs（SDGsの見える化）

SDGs とは？①

SDGs は2015年に国連サミットで加盟193カ国の全員一致で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」。
「貧困の根絶」「働きがい」「気候変動への対策」など17の目標を掲げ、国際社会に2030年迄の実現を求めている。
出典：朝日新聞掲載「キーワード」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs とは？②

SDGs (Sustainable Development Goals)

「世界中の皆で目指す、永続的な社会・地球環境を構築するための目標」

People (人間)
世界の貧困をなくす

Prosperity (繁栄)
「つづく経済」をつくる

Planet (地球)
環境を守り育てる

Peace (平和)
Partnership (協働)
SDGsを実現の、資金と協力関係



【安部総理発言(抜粋)】

我が国に於けるSDGs持続可能な開発目標、すなわちSDGsは、先進国、途上国全てが責任を持つ重要な取組です。日本は人間の安全保障の考え方に立ち、誰一人置き去りにすることなく、一人ひとりが持てる能力を発揮できる社会の実現に向けて、リーダーシップを発揮してまいります。

7月の国連での報告や9月の国連総会も見据え、私から、次の3点につき改めて指示します。

(中略)

第二に、地方でのSDGsの推進です。これは、まさに地方創生の実現にも資するものです。関係閣僚が連携して、SDGs達成に向けた地方の取組を促進する施策を検討・実施していくようお願いします。

【山本内閣府地方創生担当大臣発言】

SDGsを全国的に実施するためには、**広く全国の地方自治体による地域のステークホルダーと連携した積極的な取組の推進が必要不可欠であります。**

このため、「環境未来都市」構想をさらに発展させ、**地方自治体におけるSDGs達成のための施策を策定し、これを積極的に推進することにより、地方創生のさらなる実現につなげてまいります。**



(2018年6月9日 開催 (於総理官邸))

SDGsの達成度ランキング 日本は156カ国中15位



「SDGインデックス&ダッシュボード レポート」

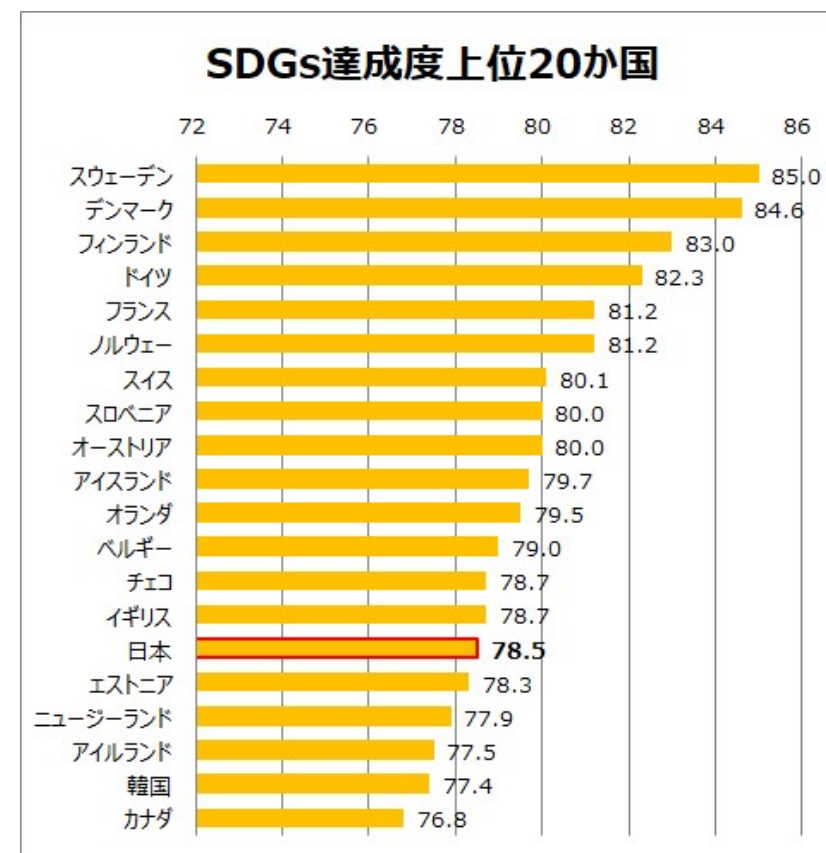
SDSNと独ベルテルスマン財団が、SDGsが発効した2016年から、各国の達成状況を分析し順位づけした報告書

**2018年SDGsの達成度ランキング 日本は156カ国中15位に入ったものの、
2017年の11位から順位を落とした。**

SDGインデックス&ダッシュボード2018 ランキング

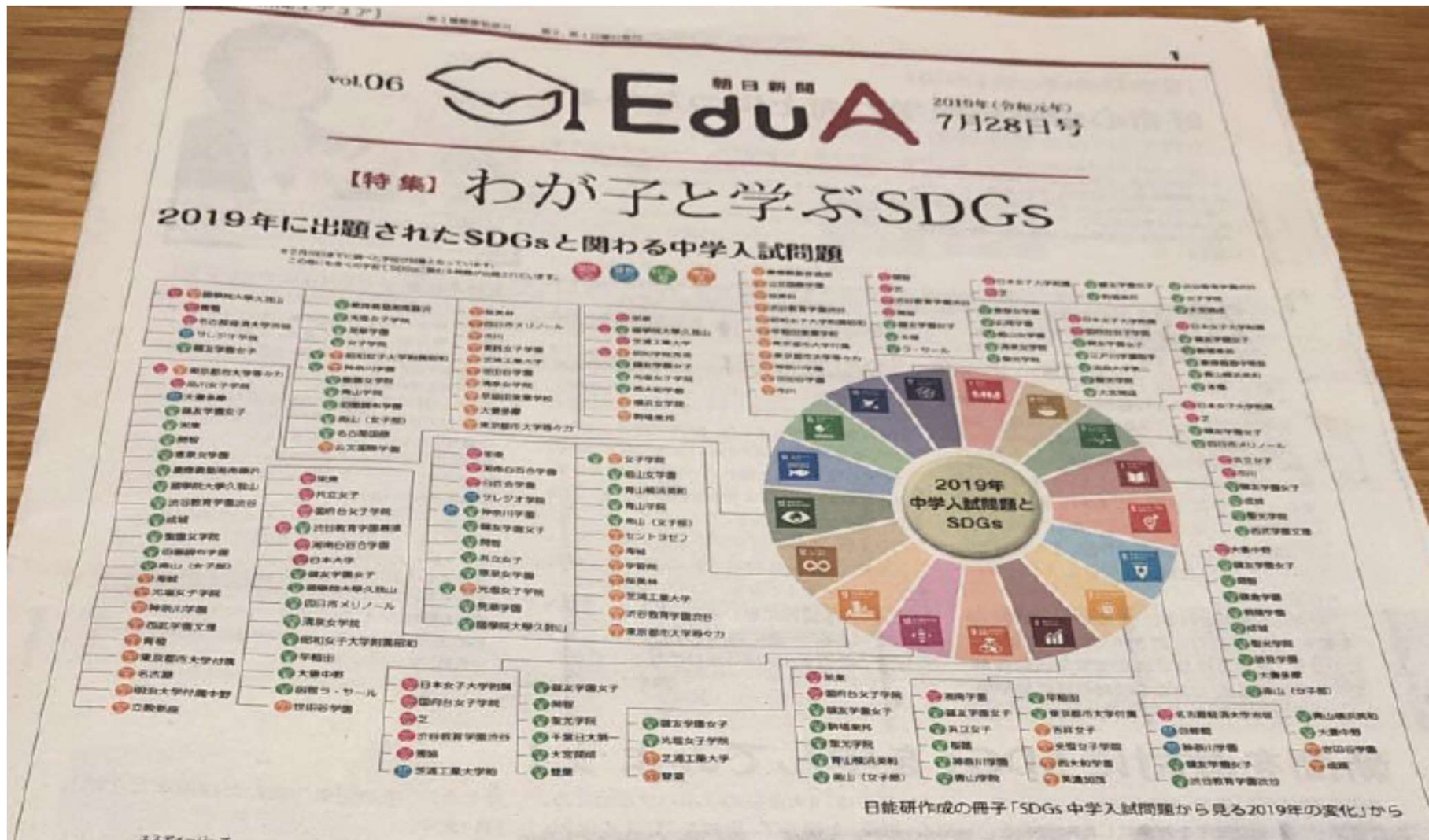
15位の日本は、
「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」
「目標12：つくる責任つかう責任」
「目標13：気候変動に具体的な対策を」
「目標14：海の豊かさを守ろう」
「目標17：パートナーシップで目標を達成しよう」
の得点が低かった。女性の国会議員数の少なさや
男女の給与格差、再生可能エネルギーの割合、
漁業資源の管理などは依然として日本の課題とな
っている。

アメリカは35位（73.0点）、中国は54位（70.1点）、
ロシアは63位（68.9点）。
下位5カ国は、最下位の156位が中央アフリカ、続いて
チャド、コンゴ、マダガスカル、イエメンの順。



入試問題にSDGsが出題された中学校リスト

2019年に多くの中学校で入試問題にSDGsが出題され、関心度の高さが伺える。



出典：朝日新聞エディア（2019年7月28日号）

「SDGs未来都市」新たに31都市。計60自治体を選定

29の自治体にSDGs未来都市選定証が授与。(2018年6月15日 内閣府地方創生推進室)

北海道、北海道札幌市、北海道二セコ町、北海道下川町、宮城県東松島市、秋田県仙北市、山形県飯豊町、茨城県つくば市、神奈川県、神奈川県横浜市、神奈川県鎌倉市、富山県富山市、石川県珠洲市、石川県白山市、長野県、静岡県静岡市、静岡県浜松市、愛知県豊田市、三重県志摩市、大阪府堺市、奈良県十津川村、岡山県岡山市、岡山県真庭市、広島県、山口県宇部市、徳島県上勝町、福岡県北九州市、長崎県壱岐市、熊本県小国町

モデル事業は
「経済・社会・環境の三側面の統合的取り組みによる相乗効果」
「多様なステークホルダー連携」
「自律的好循環」の3つ。
2019年度モデル事業に選定された自治体には、国から上限3000万円の補助金が支給される。

31の自治体にSDGs未来都市選定証が授与。(2019年7月1日 内閣府地方創生推進室)

福島県郡山市、神奈川県小田原市
新潟県見附市、富山県南砺市
福井県鯖江市、京都府舞鶴市
岡山県南栗倉村、熊本県熊本市
鹿児島県大崎町、沖縄県恩納村
岩手県陸前高田市、栃木県宇都宮市
群馬県みなかみ町、埼玉県さいたま市
東京都日野市、神奈川県川崎市
富山県、石川県小松市
愛知県、愛知県名古屋市
愛知県豊橋市、滋賀県
奈良県生駒市、奈良県三郷町
奈良県広陵町、和歌山県和歌山市
鳥取県智頭市、鳥取県日南市
福岡県大牟田市、福岡県福津市
鹿児島県徳之島町

※青色は「特に先導的な取り組み」として「SDGsモデル事業」に認定された都市。

1. エコステージとは？
2. SDGsとは？
3. エコステージとSDGs（SDGsの見える化）

●SDGs見える化サービスの活用

SDGsがエコステージ認証組織の中小企業に与える効果の重要な視点は、その組織の過去からの蓄積した事業ノウハウを新しいSDGsの目的に合致させてSDGsの課題解決を行なって新たな事業展開をすることである。

自社の事業をSDGsが提示する社会課題へ貢献することが、認証組織の新しい事業を生む原動力となる。現在の認証組織は、すでにエコステージに取り組んでいることによりSDGsの取組みを行っていることに等しいと言える。そうした視点からSDGs見える化サービスを活用してほしい。

SDGs取組みの企業行動指針も基本はPDCA

認証組織がSDGsに取り組む場合、下記の企業行動指針が基本となるが、
下表の様に**エコステージの方向性はSDGsの方向性と一致している。**

ステップ1 SDGsを理解する	SDGsとは何か 企業がSDGsを利用する理論的根拠 企業の基本的責任
ステップ2 優先課題を決定する	バリューチェーンをマッピングし、影響領域を特定する 指標を選択し、データを収集する 優先課題を決定する
ステップ3 目標を設定する	目標範囲を設定し、KP（1 主要業績評価指標）を選択する ベースラインを設定し、目標タイプを選択する 意欲度を設定する SDGsへのコミットメントを公表する
ステップ4 経営へ統合する	持続可能な目標を企業に定着させる 全ての部門に持続可能性を組み込む パートナーシップに取り組む
ステップ5 報告とコミュニケーションを行う	効果的な報告とコミュニケーションを行う SDGs達成度についてコミュニケーションを行う

※[PDF]SDGs の企業行動指針 - SDG Compass

https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG_Compass_Japanese.pdf

エコステージの目指す管理項目（目的・目標）とSDGs対応シート

エコステージの目指す管理項目（目的・目標）とエコステージの活動事例とSDGs対比を示す。エコステージ活動はSDGsと通じるところが大きい。

エコステージの目指す管理項目		エコステージの具体的な活動項目	SDGsの17項目
1	地球温暖化対策 《温室効果ガス削減》	使用電力ピークカット 省エネタイプの生産設備の導入	7(エネルギー) 7(エネルギー)
2	省資源	ムリ、ムダ、ムラの排除 3S、5S、水道使用量の削減	12(生産消費形態) 12(生産消費形態)
3	廃棄物の削減・リユース・リサイクル（3R）	不良削減と流失不良ゼロ化 材料のリサイクルと再利用	12(生産消費形態) 12(生産消費形態)
4	化学物質管理	含有化学物質のトレーサビリティ管理 労働安全衛生アセスメント	12(生産消費形態) 12(生産消費形態)
5	生物多様性・生態系保護	敷地内の緑化率の向上 工場敷地内での地域生物繁殖の支援	15(生物多様性) 15(生物多様性)
6	環境負荷低減 《大気・水質・土壌等》	生産設備の停止時間の削減 作業工数の効率化・平準化	12(生産消費形態) 12(生産消費形態)
7	エコ商品・サービス 《環境配慮設計》	環境配慮製品・サービスの開発 エコカーの販売	9(インフラ、イノベーション) 9(インフラ、イノベーション)
8	グリーン調達	LED照明や電気自動車の導入 太陽光発電装置の導入と売電	7(エネルギー) 7(エネルギー)
9	関係組織・供給者への連鎖《サプライチェーンパートナーシップ》	主要取引先とのパートナーシップ構築 顧客要望・クレームへの対応構築	8(経済成長と雇用) 8(経済成長と雇用)
10	情報公開	工場のショールーム化(極ピカ工場) ホームページによる情報発信	8(経済成長と雇用) 8(経済成長と雇用)
11	社会貢献	地域学校の見学受け入れ 地域清掃や地域祭りへの参加等	4(教育) 11(都市と人間居住)

「小松SDGs未来都市」選定、中小企業の活性化

< 小松のまちづくり指標 >

【経済分野】 たくましい産業を創生

- 5 ジェンダー平等を実現しよう **女性が活躍する社会づくり**
- 7 地球にやさしいエネルギーへの転換 **地球にやさしいエネルギーへの転換**
- 8 働きがいも経済成長も **はつらつと働き、産業を成長**
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう **新しい技術を積極導入**
- 2 飢餓をゼロに **飢餓をなくそう**

【環境分野】 ここちよい環境との共生

- 13 気候変動に具体的な対策を **地球温暖化対策と災害に強いまちづくり**
- 14 海の豊かさを守ろう **海や河川美しい水環境づくり**
- 15 陸の豊かさを守ろう **森林や土、豊かな自然環境の保全**
- 6 安全な水とトイレを世界中に **安全な水とトイレを世界中に**
- 12 つくる責任 つかう責任 **責任をもった生産と消費**

【社会分野】 家族みんなの幸せづくり

- 3 すべての人に健康と福祉を **予防を合言葉に健康長寿**
- 11 住み続けられるまちづくりを **ここちよいすまいづくり・まちづくり**
- 16 平和と公正をすべての人に **やさしいまちづくり**
- 1 貧困をなくそう **貧困をなくそう**
- 10 人や国の不平等をなくそう **人や国の不平等をなくそう**

【共創とひとづくり】

- 4 質の高い教育をみんなに **未来を創るひとづくり**
- 17 パートナシップで目標を達成しよう **共創のまちづくり**

出典：広報こまつ8



17の項目の中で、下記5項目は**中小企業の活性化から始まる。**

- 8 働きがいも経済成長も **8.働きがいの経済成長も**
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう **9.働きがいも経済成長も**
- 10 人や国の不平等をなくそう **10.人や国の不平等をなくそう**
- 11 住み続けられるまちづくりを **11.住み続けられるまちづくりを**
- 12 つくる責任 つかう責任 **12.つくる責任 つかう責任**

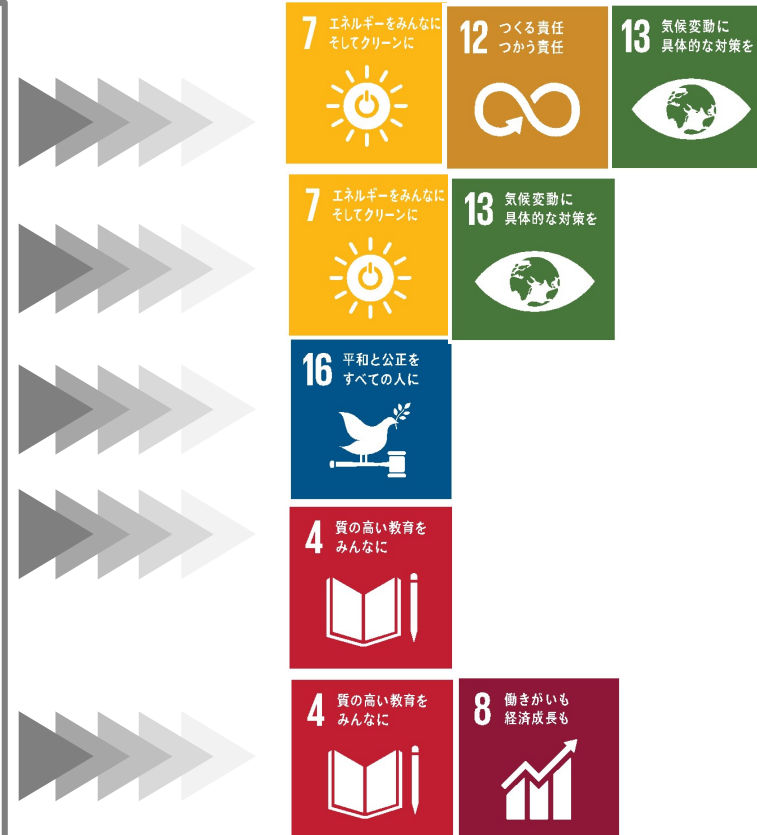
環境基本方針とSDGs

直接的、且つ緊密にSDGsのGoalに関連しているとは言えませんが、**環境基本方針の示す趣旨、目指すところはSDGsの考え方と合致している**と考えられます。

環境基本方針

1. 当社は、お客様の環境ニーズを把握共有し、**環境に配慮した製品開発やエネルギーの消費効率の向上**等により、お客様における**環境経営度の向上**に貢献する。
2. 当社は、事業活動を通じ環境に影響を与える要因を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で**省エネルギー・環境負荷の低減**に努めるとともに**環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防**を図ります。
3. 当社は、**環境関連法を含む法令および、当社が同意するその他の要求事項を確実に遵守**します。またお客様および取引先の要望にお応えできるよう最大限の努力をいたします。
4. 当社は、**従業員の環境教育**を実施し、環境方針の徹底並びに新しい環境に関する知識を共有し実践に役立てます。
5. 当社は、従業員が取り組む活動として毎年設定する実施事項について、具体的な目的・目標を設定し、推進するとともに、妥当性と有効性を見直します。
6. この**方針が従業員に十分理解され、その達成に向けて全従業員が行動出来るように努めます**。また、社外にも公開し、関係者との協業に努めます。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 改定
〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇



環境経営マネジメント項目とSDGs

環境経営の様々な活動は、**SDGsの17目標169ターゲットと紐付けることができます。**
出来ればより直接的、且つ密接な関係性を保つとなお良いでしょう。また逆にSDGs視点から活動テーマ、実施項目を検討することも求められてくると想定されます。

【品質環境管理項目より】 Goal

✓電力使用量 削減	7/9/12/13
✓Co2排出量削減	9/12/13
✓再資源化率 向上	12
✓産業廃棄物 削減	12
✓労働災害 ゼロ化	3/8
✓環境関係資格保有者 拡大	4/8



【その他エコステージ・システム項目より】

✓法的要求及び順守義務の特定	12/13
✓力量、教育・訓練、認識	4/8
✓緊急事態への準備・対応	11



【その他の運用・活動・取り組みより】

✓障害者の雇用促進	8/10
✓外国人技術実習生の受入	8/10
✓活発な改善活動	8



経営の重点課題からSDGsの関係性分析



■対応すべきSDGsを可視化する。

エコステージの取組項目とSDGsへの対応表

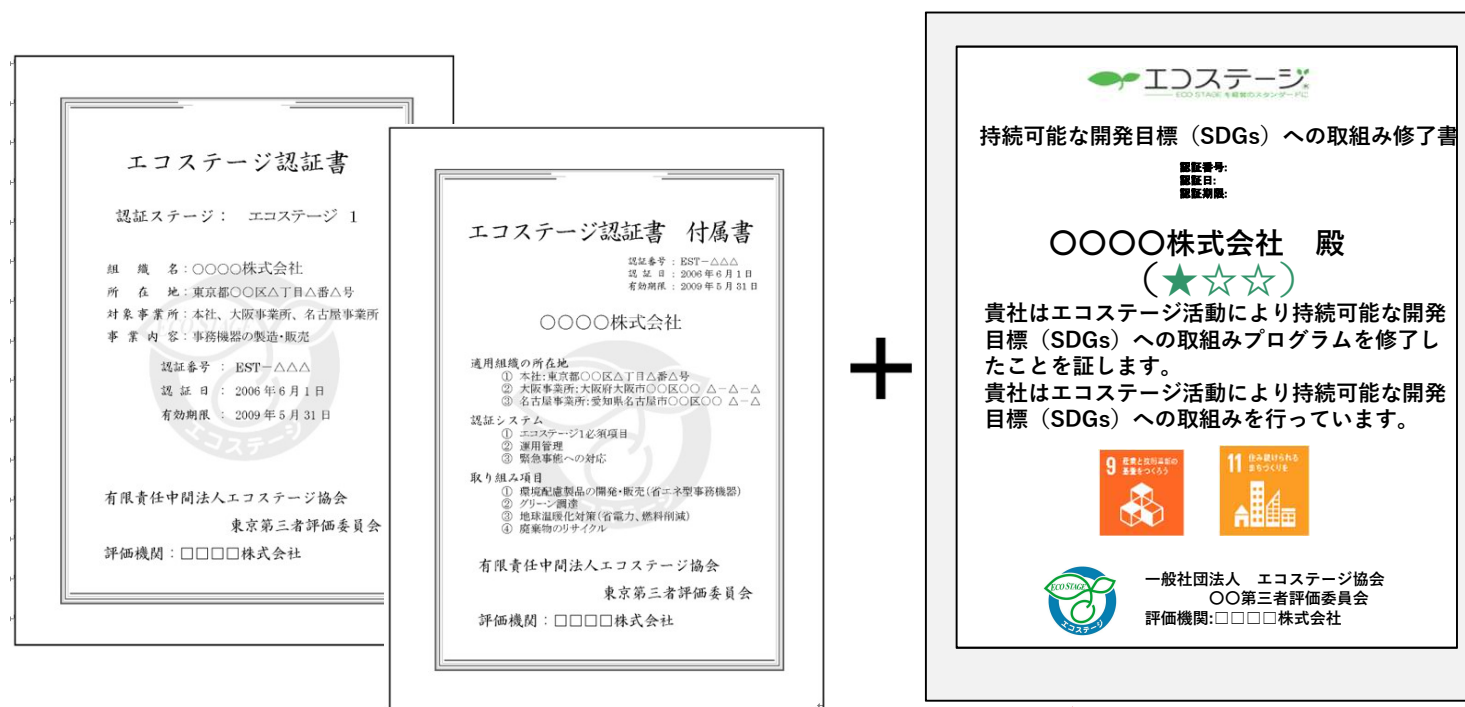
作成日 2019年2月18日

エコステージの各ステージ要求事項				1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
職場環境改善	5Sの実施	エコステージ1				○			○		○			○	○		○	○	○	
環境保全	EMS継続的改善	エコステージ1					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○
コンプライアンス	環境関連のコンプライアンスを遵守	エコステージ1	9. 1. 2 遵守評価（法的及びその他の要求事項）	○	○	○	○		○					○	○	○	○	○		
原価削減	3Rの推進（ラ再生・排水・乾燥）	エコステージ1							○					○	○	○	○	○		
原価削減	不良率の低減	エコステージ2	10. 1 10. 2 課題の特定及び是正処置・予防処置							○	○		○		○	○	○	○		○
環境保全	環境影響評価	エコステージ2	6. 1. 2 環境管理項目			○			○	○		○		○	○	○	○	○		
予防措置	緊急事態への準備及び対応	エコステージ2	8. 2 事業継続計画・緊急事態への準備及び対応						○		○				○		○	○		
企業価値の維持・拡大	事業継続計画(BCP)	エコステージ3	13 事業継続計画及び緊急事態管理の改善								○			○	○	○				○
環境保全	グリーン調達ガイドライン	エコステージ3	12. 4 資材・役務の調達管理・改善	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
環境保全	環境の保全活動	エコステージ3	12. 5 製品の製造及び施設・設備の管理・改善					○			○	○			○	○				○
企業価値	企業の社会的責任(CSR)	エコステージ5	16. 5 組織の社会的責任(CSR)の実現	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第三者評価委員会によるSDGs取組み書の発行



第三者評価委員会による認証組織のSDGs取組みの評価後、エコステージ活動によるSDGs取組み項目を示す書類を発行する。



*** ISO9001・14001・27001・45001等認証企業の場合はSDGs取組み書のみを発行する**

**我々はエコステージの中小企業への展開により、
中小企業を活性化させ、SDGsの求める「持続可能な開発目標」
の実現に寄与します。**

ご清聴ありがとうございました。